

多彩な講座を様々なシリーズで年間約40回開催（1回のみの参加可）

大人が楽しむ科学教室2025

/// 2025年4月のプログラム //////////////////////////////////////

ロボットシリーズ

4/6 日 エキゾチックなロボットたち

13:30~15:00 講師 新竹 純（しんたけ じゅん） | 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授



ゴムのようなやわらかい材料を用いることで、生物のようなやわらかさと動きを持つロボットができます。これは、材料そのものがロボットの特性を決定する場合があることを示しています。食べられる材料を使うと、食べられるロボットができます。植物を使うと、植物のようにゆっくり動くロボットができます。このように、従来とは違うアプローチで私が作り上げてきた、風変わりなロボットたちをご紹介します。

身近な科学シリーズ

4/12 土 香りの多様性 体験講座 ―世界のグランパルファン―

10:30~12:00 講師 関根 利一（せきね としかず） | 千葉県衛生研究所 医薬品・生活環境研究室 研究員



香りに関する化学的なお話から始まり、身近な香りの本質について説明します。また、香水の歴史、種類（香料の濃度）、ノート（香調）について解説を加え、ヨーロッパで産み出された香りの文化の結晶ともいえる世界のグランパルファンを実際に嗅いで、香りの多様性を感じとる体験講座になります。著名な香水、いわくつきの香水についてエピソードも交えてご紹介します。アロマ、精油、ハーブ、芳香植物、ブランド香水などにご興味ある方にお勧めです。その他のキーワード：フレグランス、シャネル、گران、ディオール

考古科学・人類学シリーズ

4/13 日 化学の視点でみる青彩色の歴史： ウルトラマリンブルーと広重ブルー

14:30~16:00 講師 島津 美子（しまづ よしこ） | 国立歴史民俗博物館 研究部情報資料研究系 准教授

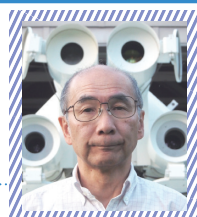


彩色のためには色のある粉末、いわゆる顔料が使われますが、現在のように化学合成で作られるようになる以前は、おもに岩石を砕いたものや、動植物の作り出す色素が利用されていました。中でも青色の顔料は自然に産出する原料が限られていたため古くから貴重なものとされていました。どのような材料が青色顔料として使われていたのか、ウルトラマリンブルーや広重ブルーを含めたさまざまな青色顔料について、時代や地域を横断しながら紹介します。

天文・宇宙シリーズ

4/29 火・祝 変動する太陽と地球・文明社会

13:30~15:00 講師 花岡 庸一郎（はなおか よういちろう） | 国立天文台 太陽観測科学プロジェクト 准教授



太陽はただいつも同じように光っているだけでなく常に変動しており、時には太陽フレアと呼ばれる爆発も起こします。その影響は地球にもおよび、美しいオーロラを見せたりもする一方、通信障害や停電、人工衛星の故障などを起こし災害の原因ともなります。また、太陽の黒点の増減は長期的には地球環境にも影響を及ぼします。なぜ太陽は変化するのか、なぜそれが地球に影響するのか、最新の観測結果も交えて紹介します。



千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2025

お問合せ 千葉県千葉市中央区中央4-5-1 Qiball(きぼーる)内 7-10階
TEL 043-308-0511(代表 9:00~19:00)
<https://www.kagakukanQ.com>

アクセス 電車=JR総武線千葉駅から徒歩15分/京成電鉄千葉中央駅から徒歩6分
千葉都市モノレール=葭川公園駅から徒歩5分
バス=千葉駅東口7番乗り場より中央三丁目下車徒歩1分



/// 2025 年 5 月のプログラム //////////////////////////////////////

宝石の科学シリーズ

5/10 土 宝石が輝く理由：光と電子が織りなす色の物語

10:30~12:00 講師 中山 隆史（なかやま たかし） | 千葉大学 名誉教授 / 産業技術総合研究所 招聘研究員



古代から人々を魅了してきた宝石の色。その鮮やかな輝きには、どのような仕組みが隠されているのでしょうか？現代の私たちの身の回りにも、色とりどりの物質があふれていますが、これらの色は一体どのように生まれるのでしょうか？本講座では、光と電子の基本的な性質からスタートし、物質がどのように色を発するのか、その奥深いメカニズムをわかりやすく解説します。科学的な視点で宝石や日常の色の謎を解き明かし、色彩の魅力に触れてみましょう。

身近な科学シリーズ

5/11 日 生体流体力学：血流と血球のバイオメカニクス

14:30~16:00 講師 坪田 健一（つばた けんいち） | 千葉大学大学院 工学研究院 / 融合理工学府 基幹工学専攻 機械工学コース 教授



血液はどのような仕組みで体の中を流れているのでしょうか？この問題を考えることは、科学的に面白いだけではなく、健康の維持や病気の予防と治療に役立ちます。本講座では、生体（バイオ）の内部で生じる血液の流れ（いわゆる血流）と、それと密接に関わる血液細胞（血球）の運動について、力学（メカニクス、物理学の1分野）の観点から見ていきます。

身近な科学シリーズ

5/18 日 知ってるようで知らない塩の話

14:30~16:00 講師 高梨 浩樹（たかなし ひろき） | たばこと塩の博物館 主任学芸員



人間は、それぞれの土地に適した製法で、生存に不可欠な塩を得てきました。それら製塩法の違いや共通点を概観しつつ、どの工程が成分や味に影響を与えるかなど、科学の視点での商品知識も紹介します。食品だけでなく、工業分野でも広く大量に使われ、みなさんが気づかないところで現代生活を支えている塩についても、簡単な実験を交えて紹介する予定です。

申込方法 //////////////////////////////////////

申込フォーム

2次元バーコードまたは下記URLからアクセスし、講座詳細ページから申込フォームへお進みください。

<https://www.kagakukanq.com/otonagatanoshimu>

※フォーム送信後、受付完了のメールがGoogleから自動配信されます。参加確定メールではありません。

往復はがき

※はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください。

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

宛先 ▶▶ 〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係



※応募者多数の場合は抽選となります。申込フォームでご応募の方は締切後に当選者のみメールでお知らせします。はがきでご応募の方は返信はがきをご確認下さい。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。（申込フォーム・はがき共通）

※講座開始後のご入場や途中退場はできません。時間に余裕をもってお越しください

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います（先着順）。

会場 10階 探究実験室 定員 各回30名

対象 高校生以上（テーマに関心のある小中学生の参加可）

申込締切 4月講座…3月10日（月） 必着

5月講座…4月10日（木） 必着

料金 要常設展示入館料

大人600円 / 高校生300円 / 小・中学生100円

※以下の方は購入時に確認できるものをご本人がご提示で無料

・千葉市内在住の65歳以上の方

・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名様まで